3年

沖縄戦体験者らは日米 自衛隊駐屯地が開設さ

¥ 32shuri@gmail.com

保存・公開を求める活動へのご協力を!

第32 軍司令部壕の保存・公開を求める会 (32shuri.jp)

平

代大本営地下壕(松代壕)を視察・沖縄県の玉城デニー知事が16日、 (松代壕)を視察した。 玉城知

> と一部公開に向けた調査を進 軍司令部壕(32軍壕)の保存 市の首里城地下に築いた第32

の言葉には、長野、沖縄の三城デニー

沖縄両県

戦跡保存の重要性

戦争を知らない世代が大半

は増すばかりだ。

ロシアのウ

クライナ侵攻などを踏まえて

日本の安全保障政策は大きく

沖縄県は、旧日本軍が那覇

営平和祈念館が一 が実現した。 を参考にする狙いで、 めている。松代壕の取り組み 地元のNPO法人松代大本 般公開され

にじんでいた。

昨年の

転換しつつあり、

私たち

まらせたくない一との思いが の連携を表面的な連携にとど

た際には、 事で多くの朝鮮人労働者が犠 見て回った。岩に突き刺さっ がら1時間ほどかけて内部を 性になったことなどを聞い たままの削岩機のロッドを見 トで爆破する方法を尋ね、 岩盤をダイナマイ

旧日本軍は本土決戦を見据

動画□ 大本営地下壕(松代壕)を訪な時間を割いて長野市の松代

フォンで写真を撮るなどしな ている「象山地下壕」を案内

> た信濃毎日新聞と琉球新報の 沖縄の日本復帰50年に合わ

どんな「平和」を描くべきか

過去に目を背けず、

玉城知事は、自身のスマ

政府機関を移転するために築 連携を機に、太平洋戦争末期、

盤にもなるだろう。

玉城知事が訪ねた松代壕に

くを経ても過重な米軍基地負 か。それはまた、戦後80年 を考えることが大切ではない

担が続く沖縄に思いを致す基

もなされていない。 松代壕はいまだに文化財指定 とした対立を嫌い、 認識や政治思想の違いを背景 る。そうした対立のせいか 話題にするのも避ける人が

っている。(竹越萌子)や、双方の取り組み方に懸か 流の具体的なイメージは示せ かは、長野側の意識の持ち方 実のあるものにできるかどう はなかった。沖縄側も平和交 を結んだ長野側の関係者の姿 前日に華々しく連携協定 両県の連携を真に

争の記憶の継承」を望みなが 鮮人労働者を巡る加害性への 諦めにも近い 際、幾度も耳にした言葉だ。 長野側では「平和」 40

里を放棄して沖縄本島南部に を取った。 のため持久戦を継続する作戦 32軍壕があった首

さん(63) | はなかったことがはっきりと 住民の犠牲を増大させた。 の壕をつなげて見ること 市民交流に参加した新城肇 国民を守るための戦争で 相模原市=

(中村桂吾撮影)

の恐ろしさを体感したとい ないがしろにする当時の体制 分かる」と話す (81)は松代壕で、 ク代表世話人の森根昇さん 沖縄市平和ガイドネットワ 住民の命を

案している。

15'57

亲厅

信濃黃日新聞 琉球新新

事は、 夏任の一つだ」と述べた。

長野 らない世代が大半を占める中、「戦争の実相ととができた―と視察の手応えを強調。戦争を知 教訓を次世代に継承することは私たちの重要な 松代壕の保存状況や工事の様子を知るこ 【関連記事29面に】

る玉城・沖縄県知事(右)=松代大本営地下壕を視察し、 =16日午前9時15分、長野市松代町西条し、突き刺さった削岩機のロッドを見つめ

信

信

戦争

恐怖

感じる今こそ

717

記署に、 問から一夜明けた17日、 け継ぐ意義について寄稿して た昨年から信濃毎日新聞と連 の日本復帰50年の節目を迎え 代大本営地下壕(松代壕) 携する 琉球新報の中村万里子 沖縄県知事による長野市松 玉城氏松代訪問 知事訪問や教訓を受 状況に重なる。沖縄戦を指揮 の地上戦で住民が犠牲になっ 実に日米の軍備増強を進める その構図は「台湾有事」を口 民を巻き添えにした沖縄戦。 る。という大本営の方針で住 危機感を訴えた。 "国体を守 琉球新報記者の目 たつらい記憶を思い起こし、

信濃金百新聞

地下壕内で写真を撮る玉城

デニー・沖縄県知事(中央)

=16日、長野市松代町西条

南部は軍民混在となり

× 琉球新報

土曜日

継ぐ必要性が高まっている。 る二つの壕を通じ、 り返さないため、 ため犠牲を強いた歴史を伝え 下に壕を築いた。国体護持の した第32軍司令部は首里城地 過ちを繰

松代壕を訪れた16日、

玉城デニー・沖縄県知事が

(令和5年) 3月18日

0

もらった。

を訪れた「戦争の記憶を継承 の保存公開を県に提言する。

界の恒久平和を発信するため 惨な体験と教訓を継承し、 る検討委員会が、沖縄戦の悲 今月末には外部有識者でつく 昨年9月に沖縄から松代壕 満彰さん(63)は32軍壕につい 流」に講師として参加した川 するための沖縄ー長野市民交

軍司令部壕 公開に向け、調査を進める。 沖縄県は首里城地下の第32 (32軍壕)の保存

県民が沖縄戦から得た教

府などの移転を計画。194

戦最後の拠点として皇居や政

松代壕は、大本営が本土決

貫工事で、多くの朝鮮人労働 4年11月から約9カ月間の突

訓①基地があるところから戦

お知らせ ◆規模を終かして11.11 松代大き翼工単幅性苦造学 平和新金のつどいを開催しま ◆松代大本課地下學定例與享 に立った平和を学ぶ展示を提 そ宝 を守らない③命どう宝(命こ 争はやってきた②軍隊は住民 を生かし、住民視点

戦で32軍司令部は、

国体護持 一方、沖縄

和ガイド団体が

う。森根さんは沖縄県内の平

者が亡くなった。

会を開催しています。毎月日 2 土曜日。8月は特別男子会 松代大本宮地下塩とは 第二次世界大戦の末期に围の 中枢機関を担代に移すことが 計画され、大規模な地下場が 建設されました。

11

り深く「地下様 ただくための分 行っています。

ţţ

わたしたちNPロ法人松代ス 本窓平和祈金館は、世界的に重要な第二次世界大戦の戦争選挙

第2条 - 小田八大本部本下標」の 完実を、多くの人々が学び、3 選する場を提供するとともに 下和の轉さ位え、人づくりの 拒滅を回り、地域社会の活性が 及び久益の機関に番与すること

を目的として設立されました

「松代大本副地下場」に触す る調査研究をすすめるととも に、男学に訪れるみなさんによ り深く「地下様」を理解してい ただくためのガイド活動などを

松代大本営平和祈念館トップページ (coocan.jp)

が、本土にはそのここぼう。 活がとにかく怖い。歴史をいして言わなければいけない生 り知られていない。沖縄と長が、本土にはそのことがあま 大事だと思う」 学び合いも必要だと思う」と 「『平和』を何度も口に出 沖縄への理解を望む。 市民同士の訪問や戦争の

ガイドの会の大城逸子さん ろんな視点から捉えることが (63)は日米の軍備増強が進む

11/11 には 松代大本営 祈念のつど 111

発表した「日米両政府に戦争 ール」の発起人でもある。「沖しない・させないためのアピ 期待を示す。

い人が戦争の恐ろしさを知ら 32軍壕の保存・公開を求め を「沖縄戦前夜の様相だ。 喜さん(94)は今の沖縄の状況 いるのではないか」 しさを語り継ぐ大 と危惧 若

くヒロシマへ

ヒロシマから> 通信 No.2032

2023/3/21(火)

qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp

えて政府機関などを移転する 実のある交流 る。 学び合う動きが生まれてい 視察後の取材では、 どう実現 して取り組みたい」と語っ

り、沖縄では持久戦を強いために松代壕建設に取りかか

かけに、 新聞と琉球新報の連携をきっ を視察するなど市民レベルで 沖縄戦研究者らで

帰50年に合わせた信濃毎日

た。昨年迎えた沖縄の日本復 事は15日に県庁で阿部守

金曜日

言